

この「広報ひこね」は48,200部作成し、1部当たりの単価は10円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

人権が尊重され、明るく住みよくなるための

市人権政策課 ☎30-6115番、FAX 22-1398番

人権学習会(地区別懇談会)を  
市内全域で開催しましょう

彦根市では、市内の自治会に、人権問題をテーマとした学習会の開催を呼びかけています。地域に住む人たちの手で企画し、身近な話題を話し合うことで、住みよいまちづくりにつながるコミュニケーション活動の場となることが期待されています。

「地区別懇談会」の名称で昭和40年代に始まったこうした学習会は、自治会が主催者となって継続的に開催され、市民の人権意識を高めてきました。名称や内容、参加の呼びかけに工夫をこらし、参加してよかったと思える学習会を市内全域で開催できるように、積極的な取り組みをお願いします。

開催にあたっては、講師などの選定・派遣について彦根市が支援します。開催日の1か月前までに開催申請書を市人権政策課(市役所3階)へ提出してください。

ヒューマンアクトーって?

彦根市ヒューマンアクトーは、人権教育推進員や学区人権教育推進協議会、自治会などと密接に

連携をとりながら、地域における人権教育および啓発活動を支援するための彦根市独自の制度で、左の表の7人が活動しています。自治会や学区人権教育推進協議会が開く人権問題学習会の企画や実施にあたって、テーマや内容、講師選びなどについて相談や支援を行います。人権教育の推進に関する相談、質問などがありましたら、気軽にヒューマンアクトーにご連絡ください。

担当学区	氏名	電話番号
城東・佐和山小学校区	寺村 さとみ	24-2072
城西・平田・城南小学校区	横田 美智子	22-3008
金城・城北・鳥居本小学校区	北川 ゆたか	23-1835
旭森・高宮小学校区	寺崎 まさ子	23-1981
城陽・若葉小学校区	近藤 純お夫	28-1023
河瀬・亀山小学校区	わか若 まつ安子	25-0702
稲枝東・稲枝北・稲枝西小学校区	くす 居 三子	43-4993

5月12日は  
「民生委員・児童委員の日」

大正6年5月12日に民生委員制度が創設されたことから、5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定めています。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、民生委員法および児童福祉法に定められ、厚生労働大臣が委嘱している民間の奉仕者です。現在、彦根市では220人(うち主任児童委員29人)の委員がいます。それぞれの担当地域で、次の福祉に関する相談支援活動を行っています。

- ▼生活や暮らしに関すること
- ▼高齢者の福祉に関すること
- ▼障害のある人の福祉に関すること
- ▼母子家庭、父子家庭の福祉に関すること
- ▼児童、妊産婦の福祉に関すること

委員は、悩んでいる人、心配ごとがある人の良き相談相手として、親身になって助言し、各種の行政サービス・制度などの紹介を行います。また、問題解決のために福祉事務所、児童相談所などの行政機関とのパイプ役をとめています。特に児童福祉に関しては、主任児童委員が専門的な立場から援助活動を行います。また、生後4か月までの「赤ちゃん訪問」を行い、子どもの健やかな成長と子育てを応援しています。

相談内容については、秘密を守ることが義務づけられていますので、気軽に相談してください。

問い合わせ先 市社会福祉課 ☎23-9590番、FAX 26-17688番

表紙の写真

4月10日(土)、荒神山周辺を歩くウォーキングイベントが行われました。

このイベントは、4月7日の世界保健デーのキャンペーンとして、「彦根に住めば、元氣になれるまち」を目指して、さまざまな活動をしている、ひこね元氣計画21実行委員会と彦根市が共催して行われました。

この日は、天気もよく、桜が満開になった荒神山周辺約4kmの道を、参加者は気持ちよく歩いていました。



人口と世帯数

平成22年4月1日現在

人口	111,607人 (-65)
男	54,976人 (-24)
女	56,631人 (-41)
世帯数	42,971世帯 (+75)

( )内は前月との比較



「広報ひこね」は、環境に配慮し再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。廃棄する場合には古紙回収に出してください。